

学校だより 希望の鐘

ひとつの希望はちどしかならぬ



八戸市立 小中野中学校

平成31年2月19日(火)

No.147 文責：校長
工藤聡

『納豆みたいに粘り強く生きたい』です

上戸彩、吉田羊、松岡茉優、柴咲コウ、鈴木奈々、岡田結実…。この人達に共通することがあります。それは、全員が大の納豆好きだということです。上戸彩さんは、1日に9パック食べた経験があるそうです。吉田羊さんは幼少の頃から毎日おやつ代わりに納豆を食べていて、自ら「自分の半分は納豆できている」と言っています。また、若手の松岡茉優さんは、ほぼ毎日1~2パック食べていて、食欲がない時は納豆だけで栄養補給をすることもあるらしいのです。なぜこんな話をするかというと、先週の水曜日の給食に納豆が出たからでした。私立高校入試の日だったので3年生は食べていませんが、1・2年生は「食べているだろうか？」と心配に思ったことがきっかけです。

くだらない内容で申し訳なかったのですが、給食に納豆が出た翌日、1・2年生全員にアンケートをとってみました。質問は3つです。1つ目は「あなたは納豆が好きですか？」というのですが、「好き→56%」「どちらでもない→37%」「嫌い→7%」でした。「嫌い」と答えた人の理由は、「くさい」が最も多く6人で、あとは「ネバネバが苦手」という人もいました。中には「きたない」という人もいたのですが、これは明らかに偏見（ヘンケン：根拠のない、かたよった意見や考え方）ですから、改めた方がいいと思いました。2つ目は、「昨日の給食に出た納豆を食べましたか？」という質問でしたが、「食べた→87%」「少し食べた→1%」「食べなかった→12%」でした。学年・男女別で見ると、2年生男子が100%、2年2組も100%食べているのがすごいと思いました。食べなかった人の理由は、「くさい」「ネバネバする」のほかに「食べたい気分じゃなかった」「おいしいと感じたことがない」などでした。

納豆は健康にいいということは、ほとんどの人が知っています。食物繊維が豊富で、骨を丈夫にするカルシウムも含まれています。体にいいばかりでなく、美肌効果も高いようです。皮膚の新陳代謝や肌荒れの改善などに重要なビタミンBが豊富で、コラーゲンやヒアルロン酸の生成を促進し、肌をなめらかに美しく保つイソフラボンまで含まれています。さらに、さらにです。納豆には脂肪の吸収を抑制する効果まであるのです。これほどですから、冒頭で紹介した女優さんたちが、みんな食べているのは納得するほかありません。しかも値段が安いわけですから、食べないというのは『あり得ない』ということになってしまいます。

私が担任だった頃、クラスのほとんどの女子生徒は、給食に出た納豆を食べませんでした。私が、「嫌いなのか？」と聞くと、「家では食べるけど、学校だと口をネバネバさせているのを見られたくないし、第一制服に臭いがついちゃうから」と言っていました。私が30歳前半だったこともあって、「何が『臭いがついちゃうから』だ」と内心で毒づいて（ドクヅク：面と向かってひどい言い方をすること）いた記憶があります。そして、小中野中では、みんなが食べていることをとてもうれしく思いました。かつての私のクラスの女子生徒が納豆を食べなかったのは、ネバネバしても、臭いがあつたとしても、「安心して食べられる」環境がなかったことが大きな原因です。家では食べるけども、学校では“よそ行き”を気取らなければならない状態だったのだと思います。まさしく、私の指導のやり方（学級経営）がダメだったのです。その点で、90%近くの生徒が食べており、2年男子や2年2組にいたっては全員が食べていることは、校長として何よりも「うれしい」ということになるのです。

さきほどのアンケートに戻ります。3つ目の「納豆に関する思い出や意見があったら書いてください」という質問にも、大勢の生徒が答えてくれました。（ ）の中は、私の感想です。

●昨日の給食では、自分とHさんとYさんと、1人4個以上のカラシを入れました。（好きで入れているのでかまわないですが、何事も『過ぎれば』害になるかもれしませんよ。中には6個入れたために「カラシの味しかなかった」という人もいました。このほかにも、からしのことを書いてくれた人はいっぱいいました。）

(⇒裏へ続きます。)

(⇒表からの続きです。)

- 納豆を混ぜ過ぎて、入れ物に穴があきました。(同じような生徒が何人かいました。好みもありますが、ネットで調べると、50回が混ぜる最適な回数だそうです。混ぜ過ぎには気をつけましょう。)
- 自分の食べていた納豆を犬がとって食べようとして、犬の毛が納豆だらけになった。(納豆だらけになった犬の毛を洗う様子は、こわくて想像できません。しかし、犬って納豆を食べますか?)
- 昔は唯一嫌いな食べ物でしたが、お寿司屋さんで「うずら納豆」を食べて感動し、好きになりました。(嫌いな人、やってみる価値はありますよ。)
- 最近、ネパールくんを見ないです。(私もそう思ったので、ネットで見てみました。ちなみに、昨日のテレビにふなっしーが久しぶりに出ていました。)
- 大粒の方がおいしい。/豆タイプは食べれるけど、ひきわりは食べれない。(逆に「ひきわり納豆が好き」という人もいました。私はどちらも好きです。)
- 食べ終わった後の納豆のパック(茶碗)にバニラアイスを入れるとトルコアイスになります。(同様の人がもう1人いました。私としては、・・・です。)
- 納豆に青ジソを入れるとおいしいですよ。/納豆にゆずポンをかけると美味しい。(私が納豆と合わせて史上最強と思っているのは、大根おろしです。大学生のアルバイト先の賄いで、店のメニューにある好きな物を食べてもいいことがあったのですが、いつも「納豆おろし」でした。お肉やお刺し身よりも、毎日食べても飽きないかもしれません。)
- 兄が納豆を嫌い過ぎて、熱が出た時「夢に出た」と言ったのを聞いて、腹を抱えて笑いました。(実は私の息子も納豆が大嫌いで、小学生の頃は、給食の献立表に納豆の文字を見ただけで元気がなくなっていたのを覚えています。今でも納豆と漬物は絶対に食べません。)
- 僕は納豆みたいに粘り強く生きたいです。(2年生男子の思いですが、私としてはコナ中生全員が自らの目標に向かって、粘り強く努力するような生き方をしてくれれば…と心から思います。)



1年生らしい、さわやかな希望式でした

先週の金曜日に1年生が希望式を行いました。1年生らしさが凝縮された、さわやかな式となりました。そして、2年生の立志式と同様、1年生の成長を感じることができました。

1年生が、この小中野中学校に入学して、ほぼ1年が経過しました。その様子を見てきた私にとって、1年生はよく頑張ってきたと思います。1年で、中学生らしくなりました。ただ、それは自らの努力だけではないはずです。出席してくれた保護者の方々や学年の先生方の支援や指導があったからです。まずは、そのことに素直に感謝しなければなりません。

私の好きな言葉の一つに、画家として有名なパブロ・ピカソの『できると思えばできる、できないと思えばできない』というものがあります。私はこれを「自分からやろうと思えばいつの間にかできるようになる、やらされているうちはいつまでもできないし、できたと思ってもそれは本当にできたうちには入らない」と解釈しています。自らが強く願い、そのための努力をすることで、その願いが成就するのではないのでしょうか。残念ながら、今の1年生には周りの大人や先輩・友達から、知らず知らずのうちにやらされていることがいっぱいあります。中学1年生であればやむを得ないことではあるのですが、勉強や部活動での練習、家庭でのお手伝いなどです。それに対して、自ら本気になって、積極的に挑戦し続けることで本当の力をつけていっていただければと思います。希望式のテーマは「本気」でしたが、自らが率先して何かに挑戦する時には、自分自身がまさしく「本気」にならなければなりません。その点で、1年生にピッタリのテーマだと思いました。

目標に向かって、自分から本気で挑戦する2年生、そして先輩となってくれることを期待します
(希望式での校長あいさつを編集しました。)

【今日のひとりごと】

●今日の私の似顔絵は、 年組の くんに描いてもらいました。薄くなった髪の毛が似ていると思います。 くんも納豆は好きだそうです。何ととっても一番は焼き肉だと言っていました。

